

第56回北海道社会人卓球選手権大会 兼全日本予選会
2022年度北海道卓球選手権大会（マスターズの部サーティ）兼全日本予選会

相互審判・敗者審判の手引き

1. 競技開始前

- 選手確認 ゼッケン着用の確認と共に、対戦表との照合。
- ユニフォーム確認 日本卓球協会公認用具指定業者のもので公認マークが付いているかどうか。
- ラケット確認 ラケットは JTTA、ラバーは JTTA か ITTF から公認されているか。
ラバーのはみ出しや欠損はないか、平坦であるか 等。
- ボール選択 要求が異なる場合は、拳により決定。
- サービス・レシーブ・エンド選択の拳
- 開始前の練習時間計測（1分以内）。

2. 競技中

- 開始時の宣告 ファーストゲーム ○○ トゥ サーブ ラブオール
- 時間計測 1ゲーム毎に計測する。開始後10分経過した場合は促進ルールが適用され、そのマッチ終了まで継続する。但し、10分経過時に双方の得点合計が18点（9-9、10-8）以上の場合は適用されない。促進ルール適用の場合は、本部にストロークカウンターを要請する。
- カウントコール ポイント決定後直ちに宣告（選手に聞こえるように）。
- レット・ストップ 選手に聞こえるように宣告し、同時に右手を頭上に高く上げる。
- 競技の継続性を促す タオル使用時やポイントの合間が長引かないようにする。
- サービス確認 オープンハンドであるか、台より下がっていないか、16cm以上ほぼ真上に投げ上げているか、落下途中で打球しているか、打球点が台上でないか、レシーバーから見えているか、等。
- ゲーム終了宣告 11-X ゲーム トゥ ○○（宣告と同時に勝者側に腕を差し伸べる。）
- ゲーム間の計測 1分以内。超過する前にタイム宣告。
- マッチ終了宣告 11-X ゲーム アンド マッチ トゥ ○○。（宣告と同時に勝者側に腕を差し伸べる。）

【ハンドシグナル】

1. 1人審判の場合

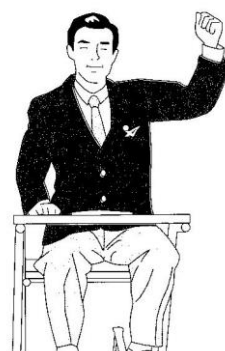
カウント器を持ちながらの場合、開始時のサーバーと主にレット、必要なときにサーバーや勝者。

2. 2人審判の場合

主審～開始時のサーバー、ポイント、レット、勝者など。

副審～ネット、ストップ、副審側のサイドの判定。

【主審ポイント】



【主審レット】

【副審ネット・ストップ】



【時間計測】 練習1分、ゲーム10分、ゲーム間1分